

施設概要及び検討状況の報告 (自然史・歴史博物館)

自然史・歴史博物館（いのちのたび博物館）の概要

令和7年8月26日



「いのちのたび」をコンセプトに、生命の進化の道筋と人の歴史を壮大なスケールで展示解説した西日本最大級の自然史・歴史博物館

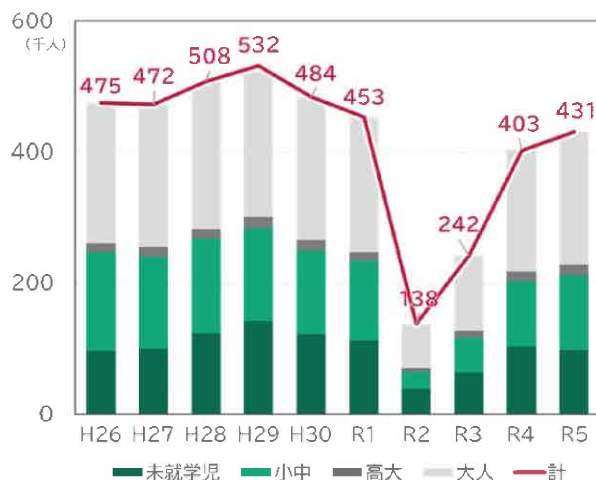
施設概要

項 目	内 容
設置目的	歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集し、保管（育成を含む）し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、併せてこれらの資料に関する調査研究をすることを目的とする。
開設時期/場所	平成14年（2002） / 八幡東区東田2丁目4-1
開館日・時間	年末年始と害虫駆除期間を除き、年中無休 / 9:00～17:00
規 模	延べ床面積 / 約17,000㎡ 展示面積 / 約6,200㎡
展示数	約9,000点

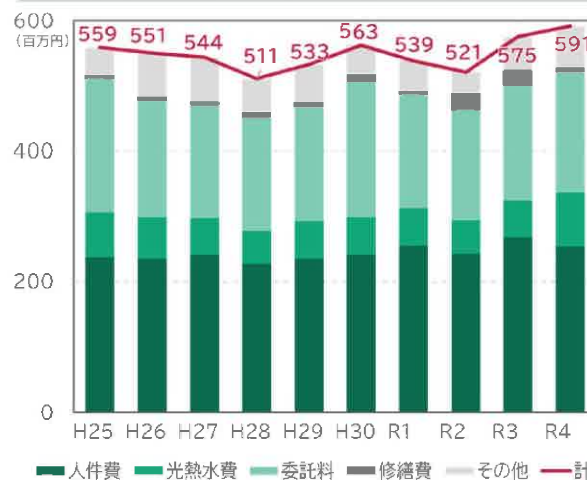
当館の特徴

- 小・中学生以下の子どもを含む、ファミリー層の利用が多い
- 昨年の入館者数が47万人を超える全国でも有数の博物館の1つ
- 国宝を含む国指定重要文化財展示の基準を満たし、国が認めた「公開承認施設」（全国の博物館約5,600館のうち110館のみ）
- 国の研究費を申請できる「研究機関」（全国の公立博物館・約4,400館のうち23館のみ）
- 教員が博物館職員として在籍し、小・中学校の児童・生徒を対象とした教育普及事業を実施

入館者の推移



維持管理費の推移



改善の取組み

- 博物館の活動について、毎年自己評価を行うとともに、外部有識者などから成る博物館協議会の外部評価を受けており、指摘があった点について改善に取り組んでいる。
- 館内にワーキンググループを設置して、ユーザー目線による運営の改善に継続して取り組んでいる。

自然史・歴史博物館のミッション策定について

1 ミッションについて

ミッションは、博物館の社会に果たすべき使命と存在理由を簡潔かつ平易な文章で表したものであり、活動の方向性を明確にする上で重要なものであるとともに、中長期計画の基となるものである。

2 ミッションを策定する理由

当館では開館時（2002年）に「理念と方向性」（別紙参照）を定めている。

しかし、策定後22年以上を経て現在の社会状況等との整合性を図る必要が生じた部分がある。また、北九州市で令和5年度から始まった市政変革の取り組みにおいても、博物館のミッションの検討と明確化、それを踏まえた運営の改善などが求められている。

3 策定方法とスケジュール（案）

ミッションの再確認にあたり、博物館法で定められた博物館協議会への諮問を経て、令和7年12月末までにミッションを策定する予定である。

このため、8月に館長が「ミッションの策定に向けて」というテーマで研修を実施し、全職員にミッションに対する共通認識を持たせるとともに策定への意識付けを行った。今後、学芸員が中心となり、全職員が参画してミッションの原案を作成し、外部有識者からなる博物館協議会に諮問する。その答申を踏まえ、ミッションを策定する予定である。

令和7年	8月	9月	10月	11月	12月
博物館	ミッション研修	原案作成 諮問			ミッション策定
博物館協議会		小委員会設置		審議 答申	
小委員会			審議		

4 策定後について

策定されたミッションに基づいて、的確・効率的に博物館の事業を推進する。

このため、ミッションに基づき毎年自主的に事業の評価と見直しを行い、ユーザー目線での運営改善に継続して取り組んでいく。また、策定されたミッションを踏まえ、令和8年度以降の中長期計画を策定する予定である。

平成 14 年 11 月 3 日

北九州市立自然史・歴史博物館「理念と方向性」

〈理 念〉

自然と人間の関わりを考える共生博物館

- 1 博物館の展示に於いて示していく
- 2 教育・普及事業に於いて啓発を行う
- 3 資料収集、保存及び研究を進めていく

〈方向性〉

知的アクセス権を保障する博物館...知的好奇心への対応

- 1 ミュージアム・ネット化構想を進める
- 2 常に開館している博物館「24時間ミュージアム」を推進する
- 3 知的な疑問や関心に責任を持って応える

セカンドスクールとしての博物館...将来への知的投資

- 1 学校等に対して誘致事業を推進する
- 2 学校教育の支援事業を強化、拡大する
- 3 家庭教育の支援事業を充実する

研究の成果を教育・普及に生かす博物館...社会への知的還元

- 1 知識と経験を生かし、質の高い展示と教育・普及事業を行う
- 2 知の集積施設として外部の委員・講師や他組織の指導・助言を行う
- 3 地域の特性を活かした研究を行い、広く情報を発信する